

令和7年度第1回向日市障害者計画策定委員会 会議録

- 1 日 時 令和7年7月18日（金）午後1時30分から2時45分まで
- 2 場 所 向日市福祉会館 大会議室
- 3 出席者 （委員）12名
田村委員（委員長）、大橋委員、山本委員、岡崎委員、増田委員、河嶋委員、井上委員、梅垣委員、小林委員、岡田委員、大塚委員、太田委員
（事務局）6名
向日市市民サービス部・柴田部長、向日市市民サービス部障がい者支援課・岩谷課長、熊上担当課長、谷澤主席係長、山田担当係長、藤田主査
（傍聴者）1名
- 4 内容
 - (1)開会
 - (2)議事 第4次向日市障がい者計画、第8期向日市障がい福祉計画及び第4期向日市障がい児福祉計画に係る障がい者実態把握調査について

【概要】

(1) 開会

(2) 議事 第4次向日市障がい者計画、第8期向日市障がい福祉計画及び第4期向日市障がい児福祉計画に係る障がい者実態把握調査について

事務局から、第4次向日市障がい者計画、第8期向日市障がい福祉計画及び第4期向日市障がい児福祉計画に係る障がい者実態把握調査についての説明を行い、調査票について意見を聴取した。

<<意見の概要>>

<委員長> 手帳毎に人数を決めてアンケートをとっているが、障害種別毎の回答内容が計画に反映されているか。別の会議で、特定の障害がある方から障害特性への配慮について意見があった。母数が少ない方からの意見が埋もれてしまっていないか。また、障害種別毎の割合も分かれば教えていただきたい。

<事務局> 障害種別毎の割合について詳細は手元になく答えられないが、前回のアンケートの回答に、特定の障がいを持つ方からと思われるものが含まれていたため、それらの方からの要望は一定程度、計画に反映されていると考える。

<委員> 発達障害とは、との設問の注釈について、「自閉症」と表記があるが、現在は「自閉スペクトラム症」になると思う。

<事務局> 承知した。

<委員> 避難行動要支援者名簿については過去から何度も作成しているが、名簿を作成しながら、具体的に機能する支援計画を作ることがポイントだと思う。対象者や計画などの見直しについてや、避難計画に求めることを問うなど、事業が機能するようにしたいという市の姿勢がわかるよう、もう少し質問内容を踏み込んでみてはどうか。

<事務局> 委員が仰られたとおり、過去にも避難行動要支援者名簿は作成しているが、当初、対象者が5,000人を超えるものとなった。災害時に機能するものとするため、対象者を絞り名簿等を作成したという経緯がある。
個別避難計画についても、障がいをお持ちで、被災される可能性が高いお住まいの方を抽出し、個別に声をかけて順次作成を始めている。避難計画等に対しての要望はかなり個別性が高く、障がい者計画そのものとの関連性と、それを反映できるものとなるのか不明なため、内容については一度検討したい。

<委員> 避難行動要支援者名簿の対象者が限定されていることは書いているのか。

障がい者の方は、それを知ったとしても次のアクションが難しい。

(要望を聞く場合には、対象者を示すことで) 1クッション置いても良いのか

と思った。

<事務局> 対象者については、18才以上用、18才未満用それぞれ注釈に記載している。

<委員> 事業所用の間20(2)必要な支援機能や整備方針、(4)求める機能や運営方針について、長岡京市が進めている事業だが、面的整備で進めていくと聞いており、方針は大体決まっていると思う。それに対して事業所に意見を聞く内容にした方がよいのではないか。

<事務局> 長岡京市の事業のため、一度検討させていただく。

<委員> アンケートの内容から外れるが、通院への手助け・交通手段がない人達に対して行政、障がい者計画として、どのようにケアをしていくのか。移動支援を外出支援ということで拡大し通院支援として利用出来れば良いのではと考えている。

<委員長> 意見としてお聞きする。障害がなくても同じような状況はあると思う。アクセシビリティ、経済的事情、必要だけれど受けられないというのは、障がい児者以外でもあると思う。子育て支援なども含め、何か良い手立てがあると良いと思う。

<委員> 18才未満で手帳を持たれてすぐの方、療育手帳を直近で取られた方、未就学児の親などは、設問の内容が分からない為、相談員と相談しアンケートを書くと思うが、それでも良いか。
ご自分で理解、判断が難しい方については相談員や職員などに相談しながら記入するという一文を入れてもよいのではと思う。

<事務局> ご自身で設問に答えるのが難しい方もいる。例えば家族に相談しながら回答された方、聴覚障害をお持ちで文面からの理解が難しい方で市役所職員から手話を通じて説明を受け、回答された方もいた。答えられるように周囲の方に相談していただきながら回答いただくことは問題ない。説明文を検討する。

<委員> 事業所用の調査票について、18才未満を対象にした事業所は内容が分からず書けないのではないかと。例えば、成年後見制度などは利用者がいなければ書けないように思う。目的に応じて、18才未満事業所用を作成するなど、工夫すると良いのではないかと。

<委員長> 事業所毎に聞くことになると思うが、障がい者向けと障害児向け事業所で聞くことが大きく異なるのであれば分けると良い。そうでなければ、設問を分けてもよいと思う。

<事務局> 制度上は、例えば放課後等デイサービスや児童発達支援という、未就学時の療育を目的とした施設があるが、それら障害児のみの施設を運営しているところもあれば、障がい者の施設も運営しているところも多くある。前回の調査時にも特に分け隔てなく調査を行ない特に支障もなかったため、このままとした

い。

<委員> 災害時にどこで過ごしたいかという設問に、福祉避難所などを追加してはどうか。適切な支援をしてくれる避難所が欲しいという声もあると思うので、そのような項目は入れて欲しいと思う。

<委員長> その他で全てくくるのではなく、福祉避難所や、適切な支援や配慮が出来る避難所など、選択肢を増やすことで良いと思う。